熊本駅新幹線口駅前広場の交通対策について

資料2

【これまでの経緯と改善・改修方針】

■ 九州新幹線の鹿児島ルート開業にあわせて施工（平成23年3月）

新幹線口駅前広場の整備

白川口駅前広場の整備（暫定形）

■ 新幹線口駅前広場の暫定改修

・H30年10月　改修工事：バス待機場、タクシーのりば、降車場などの施設配置を変更
・駐車料金の改定（JR）　30分毎100円（30分無料）⇒30分毎300円（20分無料）

【効果】
一般車の平均停車時間　5.7分（H28.9月）⇒ 3.9分（R1.6月）
自動車整理場の20分未満利用の割合　46%（H28.9月）⇒ 73%（R1.6月）

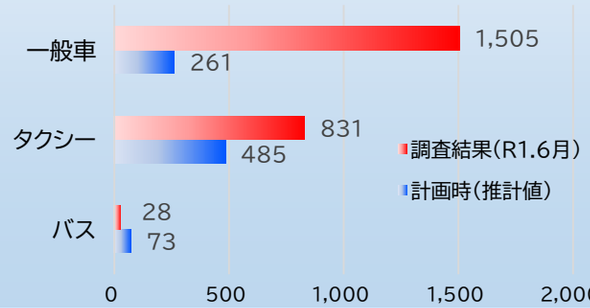
■ 新幹線口駅前広場の当初計画時からの交通状況の変化

【主な理由】
- 駅周辺の街路整備、連続立体交差事業によるアクセス性の向上などにより、一般車利用が増加
- 駅周辺の用途地域変更などの土地利用の変化や買物・飲食などを目的とした非鉄道利用者の増加
- 降車場や短時間駐車場の長時間利用等により、回転率が低下

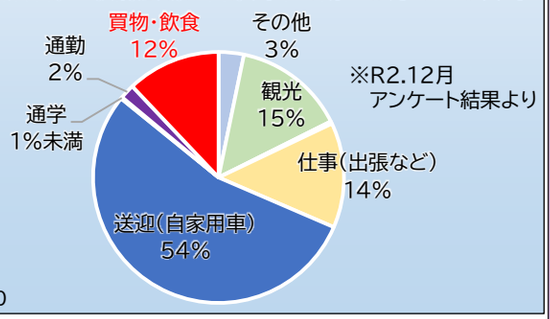
一般車の利用状況（調査結果）

一般車の平均停車時間	約4分
自動車整理場の1時間当たり回転率	約2台

新幹線口駅前広場の交通施設別利用台数（平日）



新幹線口駅前広場に自家用車で訪れる方の主な目的



今後もアミュプラザなど駅周辺の開発が進むことにより利用者の増加が予想される。
（周辺道路の交通量が約1.2倍に増加する見込み。）

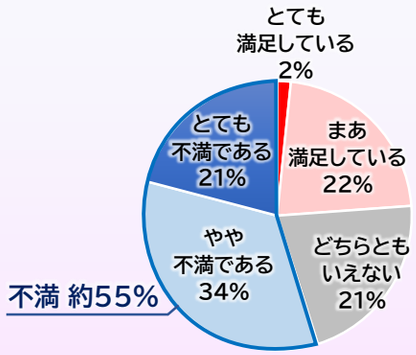
混雑解消に向け、交通施設の抜本的な見直しが必要

■ 利用状況に関するアンケート調査・事業者ヒアリング

調査期間：R2.11月30日～12月25日　回答数：1,618件

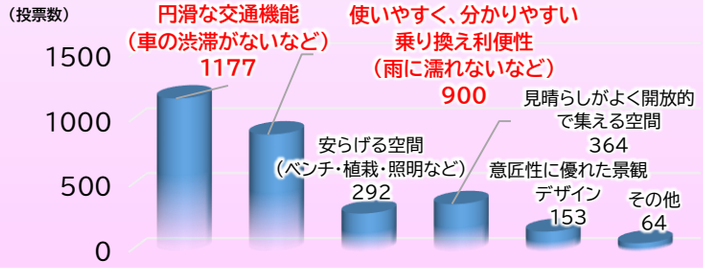
【アンケート結果抜粋】

自家用車の停車、乗り降りのしやすさ



広場のイメージ

駅前広場の改善に向けて重視すべき視点



【バス・タクシー事業者の主なご意見】

◇貸切バス事業者
- 一般車が通路をふさぎ、トラブルになることがある。できるだけ一般車とバスは分離して欲しい。
- 関係のないバスも利用している。他都市のようにバス駐車場の有料化も有効な策。

◇タクシー事業者
- 壁があることで、見通しが悪く、状況把握がしづらい。特に夜間は利用者にとって分かりづらい。
- タクシー乗降時に濡れないように屋根を設置してもらいたい。

利用者の声や事業者のご意見を踏まえた改善・改修が必要

■ JR駅ビル開発計画、熊本地震などの社会経済情勢の変化を踏まえて「完成形」の見直し

【新たなコンセプト】

- ○ 機能的かつ開放的な空間
- ○ 災害時の広場機能の確保
- ○ 連続的で快適な動線
- ○ 駅舎・駅ビルとの調和
- ○ くまもとらしさの表現

H30.11月～R3.3月
白川口駅前広場（完成形）の整備

■ 新幹線口駅前広場の改善・改修方針

- ● 一般車スペースの機能拡充と各交通の円滑な乗降機能の確保
- ● 交通動線の機能に合わせた一般車、バス、タクシーの分離
- ● 使いやすく、分かりやすい、国際化に対応した機能の充実
- ● 防災・減災機能の強化

白川口駅前広場（完成形）との整合性にも配慮

① 白川口駅前広場と連続的で調和したデザイン

② 白川口駅前広場と連携した憩い・賑わいの創出